

製品名: GlyR β ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11525**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	56kDa

抗原情報

遺伝子名	GLRB
別名	GLRB; Glycine receptor subunit beta; Glycine receptor 58 kDa subunit
遺伝子 ID	2743.0
SwissProt ID	P48167
免疫原	抗血清はヒト GLRB 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 211-260

背景

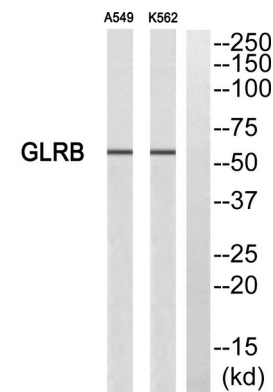
この遺伝子は、グリシン受容体の β サブユニットをコードします。 β サブユニットは α サブユニットと β サブユニットからなる五量体です。この受容体は神経伝達物質依存性イオンチャネルとして機能し、グリシンが受容体に結合することで塩素イオンコンダクタ

ンスが上昇し、過分極を引き起こします。この遺伝子の変異は、筋硬直を特徴とする驚愕病（遺伝性ハイパーエクプレキシアまたは先天性スティフパーソン症候群とも呼ばれる）を引き起こします。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2009年10月]、疾患：GLRB の欠陥は驚愕病（STHE）の原因です[MIM:149400]。遺伝性ハイパーエクプレキシアまたは先天性スティフパーソン症候群とも呼ばれます。STHE は、遺伝的に異質な神経疾患であり、特に新生児期に中枢神経系由来の筋硬直と、予期せぬ聴覚刺激または触覚刺激に対する過剰な驚愕反応を特徴とする。遺伝形式は常染色体優性または劣性である。機能：グリシン受容体は神経伝達物質依存性イオンチャネルである。グリシンが受容体に結合すると、塩素イオンコンダクタンスが増加し、過分極（神経発火の抑制）が生じる。類似性：リガンド依存性イオンチャネル（TC 1.A.9）ファミリーに属する。サブユニット： α サブユニットと β サブユニットからなる五量体。GPHN と相互作用する。

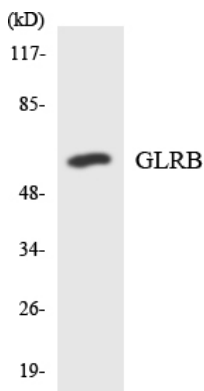
研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

画像データ



GLRB 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンが GLRB ペプチドでブロッキングされている。



GLRB 抗体を使用した HUVEC 細胞溶解液のウェスタンブロット分析。